

教室内談話：学習者間相互交流とL2学習を考える

学習者同士が互いに話し合う活動は、近年の外国語（L2）教室には不可欠です。また、学習者同士が学習言語で対話する活動の意義や L2 習得における効果は、外国語教育において興味深いトピックの 1 つです。本講義では第二言語習得理論を適宜参照しながら、外国語教室で行われる学習者同士の対話の意義や先行研究で明らかになっている効能、より効果的な実践法や課題と展望について考察を深めます。

講師：名部井 敏代 先生 関西大学外国語学部・大学院外国語教育学研究科

プロフィール：

米国ペンシルベニア大学教育学研究科修士課程、トロント大学大学院教育学研究所博士課程を経て、2003 年より関西大学勤務。2013 年より現職。専門は、教室内第二言語習得研究・英語教育法。第二言語・外国語の学習・習得を促進する指導のありかたを、第二言語習得理論（社会文化的アプローチ）の枠組みを用いて研究している。教室という学びの場で教師や学習者の間に起こる相互の言葉のやりとり（談話）や、学習者の学習言語での発話や執筆（アウトプット）が、L2 習得にどのように関係し得るのかを探求。



著書：

『フィードバック研究への招待：第二言語習得とフィードバック（第2章）』（くろしお出版）、

『Recasts in a Japanese EFL Classroom』（関西大学出版部）

第1回 8/23（火）19:00～20:30 「学習者同士のL2対話」と第二言語習得理論

外国語教室で学習者同士が L2 で対話する意義はどこにあるのでしょうか。第二言語習得理論、特にアウトプット仮説やインタラクション仮説と関連させながら、「学習者同士のL2対話」の役割を考えます。

第2回 8/30（火）19:00～20:30 「学習者同士のL2対話」と第二言語学習

「学習者同士のL2対話」を通じた言語能力の習得について、先行研究の例を引きながら考察します。

第3回 9/6（火）19:00～20:30 「学習者同士のL2対話」と教師

教室内で「学習者同士のL2対話」を用いる授業実践にあたっての教師の役割について考えます。

第4回 9/13（火）19:00～20:30 「学習者同士のL2対話」とこれからのL2指導

今後の、L2 教室内で行う学習者同士のL2対話活動の実践における課題と展望について考察します。



募集定員：80名（先着順）

会場：オンライン（ZOOMにて開催、録画視聴あり）

申込期限：2022年8月21日（日）

受講料：9,000円（税込）※全回の受講をお勧めしますが、ご希望の回のみのお申し込みは1回2,500円（税込）となります。

申込：詳細はこちら → <https://osakaymca.ac.jp/jle-center/2204.html>